

## 【講評】

### ◇高校生の部

#### ※最優秀賞(フランシスコ・ザビエル賞)

関西大学高等部 フィールドワーク部 中世鑄造探究班 …「河内鑄物師」に関する発表

堺市立みはら歴史博物館などのフィールドワーク、史料・文献調査など、とても丹念に行ったことがよく分かる発表でした。パワーポイントは、フィールドワークの成果を写真なども駆使して適切に盛り込んでいたので、完成度の高い仕上がりになっていましたね。とりわけ、河内鑄物師自身が製作した梵鐘などを、天皇家や公家から得た特権や権威、西国では廻船鑄物師によるネットワーク、東国では鎌倉幕府の執権北条氏等の権威、これらを活用してブランド化していったという視点、中国大陸、朝鮮半島、日本という東アジアにおける梵鐘の比較など、深掘りした調査研究を進めていた点が最優秀賞の決め手となりました。

#### ※優秀賞

大阪府立高津高等学校 地歴研究部 …堺市臨海部「浜寺」、「浜寺俘虜収容所」(日露戦争)に関する発表

浜寺の歴史、とりわけ、日露戦争時に浜寺南部にあった浜寺俘虜収容所について詳しく調査研究していることがよく分かりました。浜寺からロシア兵の墓地のある泉大津までのフィールドワーク、俘虜収容所の全国的な比較、地域住民との関わり、戦争捕虜の取り扱いを国際的に定めたハーグ条約などの国際法、ロシアが帝国であった証しとしての兵士の墓石に刻まれたロシア語、アラビア語、ドイツ語、ポーランド語、ヘブライ語の各言語に言及していることなど、グローバルな視点が良かったです。最優秀賞まであともう一歩でしたので、課題として残った、解決できなかった問いは今後も継続して調査していただければ嬉しいです。

#### ※奨励賞

雲雀丘学園高等学校 大阪LOVER …「堺と鑄物」「河内鑄物師」に関する発表

河内鑄物師をはじめ堺の鑄物に関して、歴史的視点から現代的視点まで幅広く調査研究している発表でした。廻船鑄物師の役割についてもよく研究していると感じました。さらに、学校周辺の名産品である池田炭についても調査して、河内鑄物師の鑄造との関わりを考えるとという姿勢、仮説の立て方にも好感が持てました。最優秀賞との差はほとんどないと思ってもらっても良いと思います。ただ、銅については、古代から江戸時代にかけては、日本の輸出産品において重要な位置を占めていたことが明らかになっています。日本産銅の歴史的かつ世界的な位置づけについての調査研究は、今後の課題としていただければ嬉しいです。

雲雀丘学園高等学校 モモンガ …「河口慧海」に関する発表

河口慧海について、慧海をテーマに選んだことや慧海が通った寺子屋「清学院」に着目したことは凄く良かったと思います。寺子屋について凄く詳細に調査研究をしたことが分かる発表でした。寺子屋に関連して世界的な青少年の教育についても言及していました。日本と世界を比べたりつなげたりという視点を持っているグループでしたので、当時の慧海を取り巻く近代仏教界の状況やチベット行きを決断した背景などまで広がっていけば、より幅広い発表になったと思います。あと、慧海が書いた『チベット旅行記』をもっと丹念に読み込んでいけば、更なる深まりが得られると思います。

桃山学院高等学校 たむたむいんだすとリー …「堺のレジャー施設」に関する発表

当初の内容とは変更になりましたが、絞り込んだことが良かったと思います。堺のレジャー施設について、歴史的に幅広く調査されていると思います。史料の読み込みもよくなされている点がわかります。なお、堺市が第二次世界大戦後の戦災復興から工業都市をめざしたのは事実ですが、大阪市にレジャー施設ができていったのは歴史的に見るとかなり後の時代になるなど、細かな見込み違いはありましたね。しかし、近隣都市とは違うレジャー施設の特化が必要だ、という提言が入った発表でしたので、もっと大胆に提案してもよかったのでは、と思いました。

帝塚山学院高等学校 歴史研究部 「君、何部?」「私たち、こんぶ!!!」 …「昆布」「昆布加工」に関する発表

堺の伝統産業である昆布加工の現地調査、同じく堺の伝統産業である包丁との結びつきへの考察、そして江戸時代における「昆布ロード」など昆布そのものの歴史的な研究成果、これらが発表によく出ていたと感じました。帝塚山学院の歴史研究部らしい工夫された発表形式も好感が持てました。中国への消費の広がりにも触れていたことでも、よく調べていることがわかりました。関西と関東の出汁の違いに関しては、醤油、昆布、魚といった使用食材の違いが大きいこと、当時の琉球にも昆布がたくさん入っていたことなど、質疑応答で触れられた課題は、今後とも調べていってほしいですね。

#### ◇中学生の部

##### ※最優秀賞(ルイソ助左衛門賞)

雲雀丘学園中学校 減数分裂 …「泉北ニュータウン」に関する発表

現地へのフィールドワーク、キーパーソンへのインタビュー取材など、丹念に調査研究した成果が発表内容によく反映されている素晴らしい発表でした。統計資料の読み込み、日本国内のニュータウンなどの実例や調査だけではなく、世界的な実例についても良く調べているな、と感心しました。職住接近のまちづくりに関連して、市街化調整区域の範囲などの読み違いも見受けられましたが、それでも、泉北ニュータウンを再活性化するために、定住外国人市民との共生のまちづくりに着目した提案「カルチャーバザー」は、具体的かつ夢のあるものでした。

##### ※優秀賞

帝塚山学院中学校 歴史研究部 江戸っ子三味線 …「三味線」に関する発表

帝塚山学院の歴史研究部らしい、フィールドワーク体験を生かして三味線の実演を入れたりして工夫した発表形式でしたね。三味線について、世界的な視点で研究発表できていました。この発表会の趣旨に見合った、全体的な組み立て方がよくできていると感じました。小唄三味線や津軽三味線など日本のいろいろな三味欄からインドのシタール、トルコのクブーズ、琉球の三線など世界の弦楽器まで、それらの比較はもちろん、それらのつながりをよく調べてまとめられていました。琉球の三線が堺に伝わり全国に広がっていった歴史的経緯もよく分かる発表でした。

##### ※奨励賞

帝塚山学院中学校 歴史研究部 和に染まりたい女達 …「和ざらし・注染」に関する発表

堺の伝統産業である和ざらし・注染をテーマにしつつ、世界的なつながりも抑えたこの研究発表会にふさわしい内容でした。また、更紗に触れていくことによってよりアジアとのつながりにも着目していました。世界の中での堺を良く意識した発表だと評価したいです。和ざらしが堺に発達した地理的理由、注染が発達した歴史的理由についてもよく調べていると感じました。和ざらしの原料である木綿や綿製品に関する世界的な視野、更紗に関する更なる考察がもう少し展開できれば良かったのではないのでしょうか。コロナ禍によってフィールドワーク・体験ができなかったのが残念でしたね。

神戸大学附属中等教育学校 ESPOIR123 …「堺におけるこれからの自転車活用」に関する発表

堺の伝統産業である自転車活用について探究した優れた研究でした。パワーポイントの仕上がりも良く、とても楽しく研究したことが分かりました。とりわけ、堺の自転車博物館へのフィールドワークやシェアサイクル体験、堺における金属加工の歴史的考察をベースにして、それだけに終わらせずに提案型の発表に仕上げたことが素晴らしかったです。現在の国際的課題SDGsにもつながる、視野の広さを感じました。ヨーロッパの自転車活用にも目配りがあり、グローバルな視点を持った研究でした。ただ欲をいえば、アジアにおける自転車活用、よりソフト面に踏み込んだ活用策などについても考察していただければ、と思いました。

関西大学中等部 フィールドワーク部 堺市金属工業探究班 …「堺市の鉄鋼業」に関する発表

堺の鉄鋼業に着目して、堺の企業の方々や製造所の現場の方々にインタビュー取材をするとともに統計資料を丹念に収集していった研究姿勢がまず素晴らしかった点です。統計資料を読み込んで仮説を立て調査研究していく探究の見本となるような発表でしたね。パワーポイントも分かりやすい作りでした。仮説と実際の取材結果との違いに関して、さらなる統計資料の発掘や仮説に対する検証など次の考察ステップがかわれば、さらに充実した発表となったのではないのでしょうか。また、アジアなど世界的な製鉄所、製鉄業との競争や協力についても調査研究をすれば、もっとダイナミックでグローバルな発表になったのではないのでしょうか。

雲雀丘学園中学校 ヘムヘム …「堺とバレーボール」に関する発表

バレーボール部に所属している三人が楽しく取り組んできたことが分かる発表でした。このように実際に自分がしているスポーツや趣味に関して、歴史的・地誌的な研究発表をしてもらえると嬉しいです。堺ブレイザーズというプロのバレーボールチームが地域密着型のチームづくりをしてきたことが理解できた丹念な研究発表で、この点がまず素晴らしいと思いました。パワーポイントはそのままチームの広報活動に使えるような出来栄でした。さらに、泉州のバレーボールの歴史や、少し触れられていた欧州型クラブチームやJリーグとの比較をもう少し展開すれば、もっと深い発表になったのではないのでしょうか。

※特別賞(堺ユネスコ協会賞)

神戸大学附属中等教育学校 Team Halina …「堺と神戸の比較」に関する発表

これまでありそうでなかった神戸と堺の外交史的・地誌的な比較研究という視点・テーマ設定が興味深いものになりました。こういう比較研究を前面に出すこともここでは大切です。発表の流れも「問い」を立てて調査-研究-考察という流れで、非常に論理的で高校生レベルの発表でした。歴史的な大きな考察は漏れのないものでしたので、個々の考察をより深掘していけばより良い発表に仕上がったのではないのでしょうか。ただ、神戸と堺の歴史的転換期に関しては、室町時代後期から江戸時代初期というよりも、江戸時代の幕末開国期から明治時代や昭和の戦後復興から高度経済成長初期も調査研究し考察すれば、よりの確な転換段階が描けたのではないのでしょうか。